

## 第6学年 社会科学習指導案

は組 男子 18名 女子 18名 計 36名  
指導者 枝迫 大明

### 1 小単元 天皇の世の中を支えた人々

#### 2 小単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちは、これまでに狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べることを通して、大和朝廷による国土統一の様子についてとらえてきている。このような学習をしてきている子どもたちは、天皇中心の世の中の政治や文化について問題を追究したいという意欲が高まってきている。

そこで、本小単元では、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子等を追究する活動を通して、聖徳太子、中大兄皇子・中臣鎌足、聖武天皇によって、天皇を中心とした新しい国づくりを目指して政治の仕組みが確立されたことをとらえさせようとするものである。さらに、写真や絵図、年表等を活用し、新しい国づくりの様子と人々の暮らしを関連付けて天皇を中心とした国づくりが進む様子について考えたり、国づくりにかかわった人々の思いや願いに共感させながら、我が国の歴史や伝統を大切にすることを育てたりしようとするものである。

このような学習は、藤原道長や紫式部をはじめとする貴族の華やかな生活を追究する学習へと発展していくものである。

##### (2) 指導の基本的な立場

聖徳太子、中大兄皇子・中臣鎌足、聖武天皇は天皇を中心とした政治の確立を目指し、大化の改新や大仏造営、東大寺をはじめとした国分寺の設立に取り組んできた。また、政治や文化が確立されていく過程には、遣隋使や遣唐使によって大陸の影響を多く受けたものが見られ、仏教もその一つである。特に、聖武天皇は仏教の力で早魃や飢饉、疫病による人々の不安を鎮め、国家の政治を都だけでなく全国にも及ばせられるようにした。また、税の取り立てを逃れようとして国の承認を得ることなく出家する私度僧たちの出現を懸念し、正式な戒律を授けられる僧を求めて、ついには遣唐使の帰国と共に鑑真が鹿児島県南さつま市坊津に到着することとなる。

そこで、ここでは、天皇を中心とした政治が確立されたことをより具体的に考えられるようにするために、**聖徳太子の政治、中大兄皇子・中臣鎌足の政治改革、聖武天皇の政治や人々の暮らしといった「多重」の視点を取り上げ、主体的に追究できるようにする。**その際、特に、聖武天皇の政治と鑑真の働きを取り扱うようにする。そして、仏教による政治の仕組みが整っていく様子について具体的に考えさせるようにする。

そのために、まず、奈良盆地に多くの寺があることや旧国の地名も多くあることを追究することを通して「大和朝廷がどのようにして全国に力を広げたか。」という問題意識をもたせたい。

次に、一人一人の予想を基に追究計画を立てさせ、絵図や年表、地図等を基に、自分なりに気付いたことを「聖徳太子の政治」「中大兄皇子・中臣鎌足の政治改革」「聖武天皇の政治や人々の暮らし」「大陸文化」の追究の柱で、グループや全体で話し合わせる。その際、人々の暮らしに対する思いや願いについて具体的に考えさせるようにするために、聖武天皇の正式の仏教を広めようとする取組と、鑑真の渡航を関連付けて考えさせ、全国に天皇を中心とした政治が広がったことと鑑真の信念を考えさせるようにする。さらに、天皇中心の新しい国づくりを目指し確立されていく過程と、仏教の発展にかかわった人物を、絵図で構造的に示したり年表に整理・再構成したりして歴史新聞にまとめさせ、国づくりにかかわった人々の業績や願いを「論述」させる。

このような学習を通して、天皇中心の新しい国づくりを、天皇、僧、庶民の視点から多面的に追究することの楽しさを味わいながら、思考力・表現力等の問題解決能力を高めたり、我が国の歴史や伝統について合理的な価値判断を伴わせながら関心や理解を深めたりすることになる。

### (3) 子どもの実態（調査人数36名，質問紙法，重複回答，主な質問事項のみ記述）

1	奈良時代で知っている人物 聖武天皇 (20)，鑑真 (15)，行基 (11) 阿倍仲麻呂 (4)，元明天皇 (3)，山上憶良 (2)
2	奈良時代の出来事 大仏建立 (7)，平城京 (4)，唐招提寺 (3)，国分寺 (3) 遣唐使・遣隋使 (2)，律令政治 (1)
3	奈良時代における日本と海外とのつながり ある (26)，ない (10) 文化 (7)，貿易 (6)，渡来人 (4)，シルクロード (1)
4	奈良時代の中で学習したいこと 人物の様子 (14)，人々の暮らし (11)，出来事 (8) 国の変化 (2)，文化 (2)，政治 (1)
5	資料活用 (1) 1枚の絵図の読み取り 部分と部分の関係 (14)，全体的な傾向 (9) 主な部分のみ (9)，全体と部分の関係 (3) (2) 2つの事象の比較・関連 違い (23)，類似点 (9)，かかわり (4) (3) 年表の読み取り 元号や西暦 (36)，推移 (20)，出来事 (15)
6	期待する活用の仕方 人物ポスター (18)，歴史新聞 (14)，討論会 (12)

この学級の子どもたちの奈良時代についての見方や考え方は次の通りである。

子どもたちの多くが，奈良時代の代表的な人物として聖武天皇や鑑真，行基等を挙げている。子どもたちは歴史関係の書物等から，大まかではあるが人物の活躍と出来事を結び付けてとらえている。しかし，我が国の政治が確立されてきた時期であることや海外との交流があったことについて具体的にとらえていないことから，奈良時代に政治が確立されてきた経緯を聖徳太子や中大兄皇子，中臣鎌足らの活躍と関連付けながら時間の経緯に沿って中心となる人物を取り扱っていく。また，**当時の人々の暮らしに関心をもっている子どももいることから，天皇を中心とした取り組みと僧**

**や庶民の暮らしを関連付けながら，人々の暮らしをより共感的に感じ取らせたり，「多重」の視点から追究させたりする。**そして，絵図や年表，地図等，多様な資料を基に，自分の考えを支える根拠を明らかにしながら話し合わせることで，よりよい自分の考えを発表したりノートにまとめたりして「説明」できる場を設定する。そのようにすることで，天皇を中心とした世の中の特色についての見方や考え方を深められるようにしたい。さらに，資料を活用する際は，部分に着目させるだけでなく，資料全体の様子と特徴を示す部分に着目させながら学習を展開したい。

このようにして身に付けた見方や考え方を基に，特に共感する人物に関する内容から学習を振り返らせ，我が国の歴史や伝統に対する興味・関心を高めるとともに，基礎的・基本的内容の定着を図りたい。

### (4) 指導上の留意点

以上のことを踏まえ，指導に当たっては，次のようなことに留意していく。

単元の追究過程においては，「大仏造営」を基に，「聖徳太子の政治」「中大兄皇子や中臣鎌足の政治改革」「聖武天皇の政治や人々の暮らし」「大陸文化」という柱で，それぞれの中心人物の働きを比較しながら主体的に追究させていく。その際，地図や絵図，年表等を活用させながら，天皇を中心とした政治が確立される経緯について考えさせる。その際，天皇を中心とした政治が確立されたことをよりよく理解させるために，聖武天皇の願いと鑑真が来日する必要性とを関連付けて，庶民や僧の当時の暮らしを類推させながら追究させるようにする。

ア まず，大和朝廷の中心となったのが奈良盆地の辺りであることをとらえさせる。次に，寺や旧国の地名が多いことを基に，「大和朝廷はどのようにして全国に力を広げたのか。」という問題意識をもたせ，古墳時代以降のくに同士の争い以降について追究したいという意欲を高めたい。そして，子ども一人一人の様相を表出させながら追究計画を立てさせ，自分なりの考えを基に見通しをもって追究する喜びを味わわせていきたい。

イ 天皇を中心とした世の中が確立されていく過程を大陸との関連からより具体的にとらえさせるために，「大陸文化」を重点的に調べられるようにする。そこで，まず，聖徳太子，中大兄皇子や中臣鎌足の業績の積み重ねがあったことをとらえさせる。次に，聖武天皇の取組をとらえさせながら，庶民の暮らしと関連付けて考えさせ，仏教の力で国を治めようとする背景に迫れるようにする。そして，鑑真が来日する必要性や聖武天皇の願いに気付けるようにしたい。**また，「多重」の視点から追究させるために，活躍した人物だけでなく，当時の僧や庶民の暮らしを取り上げ，時代背景をよりよくとらえられるようにする。**

ウ 追究した結果，自分なりに分かった天皇中心の世の中の特色を吟味させたり，天皇中心の政治の確立に対する一人一人の見方や考え方を振り返らせたりしながら，歴史新聞にまとめさせ

る。その際、小単元の学習で習得した知識や技能を活用できるように、特に共感する人物を選択し、国づくりにかかわった人々の業績を整理・再構成しながら取り組ませる。

### 3 目 標

- (1) 聖徳太子や中大兄皇子、中臣鎌足、聖武天皇の業績や考え方に関心をもち、天皇を中心とした政治が確立されていく様子について、これまでの学習を振り返りながら取り組むことができる。
- (2) 聖徳太子の政治の特色や大化の改新の意味、聖武天皇が東大寺の大仏を建立した理由と人々の願いとを関連付けて調べることができる。
- (3) 自分の調べたことを明確にするために、天皇を中心とする国づくりが行われていく様子について年表や絵図などに表したり、歴史新聞にまとめたりすることができる。
- (4) 聖徳太子の政治、中大兄皇子や中臣鎌足の政治改革、聖武天皇の大仏造営、大陸文化の摂取を通して、天皇中心の政治の仕組みが整えられてきたことを理解することができる。

### 4 指導計画(全7時間)

学習過程	主な学習活動	学び合う喜びや楽しさの深まり	教師の具体的な働きかけ
つかむ	1 奈良盆地のお寺の数や旧国の地名の名残りについて話し合い、天皇中心の政治について学習問題を設定する。 大和朝廷はどのようにして力を強めたのだろうか。	たくさんのお寺があるな。全国の地名が集まっている。	㊦ 地図(奈良盆地)、短冊(旧国名) ○ 「どのようにして全国に力を広げたのか」という問題意識をもたせるために、寺や旧国の地名の数を基に奈良盆地の一部分から日本全体を想起させるようにする。
①	2 予想を基に、調べる内容や方法について追究計画を立てる。 【調べる内容：追究の柱】 ○ 聖徳太子の政治 ○ 中大兄皇子、中臣鎌足の政治改革 ○ 聖武天皇の政治や人々の暮らし ○ 大陸文化	どうやって全国に力を広げていったのだろうか。 仏教が関係するのかな。リーダーがいたのかな。人々が不安なのかな。	○ 世の中の変化をとらえさせるためにくらしだけでなく政治、文化を追究の柱に設定する。 ㊦ 肖像画(聖徳太子、中大兄皇子、中臣鎌足、小野妹子) ○ 聖徳太子や中大兄皇子、中臣鎌足が目指した天皇中心の国づくりの過程をとらえさせるために、年表を基に、聖徳太子の業績や大化改新に焦点を当てて話し合わせる。
①	3 天皇中心の国を目指した人々の働きについて調べ、話し合う。 (1) 聖徳太子の政治や当時伝わった文化について調べ、話し合う。 (2) 大化改新の意味について調べ、話し合う。	天皇によって豪族がまとめられたな。くらしだけでなく政治も追究したいな。	㊦ 十七条の憲法、冠位十二階 ㊦ 絵図(遣隋使) ○ 聖徳太子の業績や大化改新と、天皇中心の国家形成とを関連付けて考えさせるために、大陸文化の摂取、十七条の憲法や冠位十二階のねらいを話し合わせる。
調	聖徳太子の政治 仏教の導入 ← 遣隋使 → 天皇中心の政治を導入 ・冠位十二階 ・十七条の憲法	仏教が伝わったんだな。政治の形ができてきたな。	○ 聖徳太子の業績や大化改新と、天皇中心の国家形成とを関連付けて考えさせるために、大陸文化の摂取、十七条の憲法や冠位十二階のねらいを話し合わせる。
べ	中大兄皇子・中臣鎌足の政治改革 <大化の改新> ・平城京遷都 ・大宝律令 ・租調庸	天皇中心の国づくりに進み始めたんだな。	㊦ 絵(大仏づくりの様子) ㊦ 写真(平城京の想像模型) ㊦ 地図(国分寺、国分尼寺の位置) ○ 天皇の力の大きさに気付かせるために、大仏や平城京の大きさと国分寺が置かれた場所とを関連付けて話し合わせる。
る	天皇中心の国が確立されていく様子について調べ、話し合う。 (1) 聖武天皇の行った政治について話し合う。 (2) 聖武天皇の願いや鑑真の働きについて調べ、話し合う。【本時】	全国から税が集められているな。都が移り、整備されて大きいな。 全国に力が及んでいるな。	○ 聖徳太子の業績や大化改新と、天皇中心の国家形成とを関連付けて考えさせるために、大陸文化の摂取、十七条の憲法や冠位十二階のねらいを話し合わせる。
④	聖武天皇の政治 国分寺建設 大仏造営 仏教の力で国を治める	地方の人々は大変な思いをしたんだな。病気や反乱、災害が起きているぞ。	○ 聖武天皇の力が全国に行き届いてきたことをとらえさせるために、瓦同士の類似点に着目させる。 ㊦ 歌(貧窮問答歌) ○ 農民のくらしの苦勞に気付かせるために、歌の内容と重税からくらしを類推させる。
①	渡来人 技術や文化の伝達 天皇中心の国づくりの確立	庶民や僧は大変な思いをしているのではないかな。	○ 聖武天皇の力が全国に行き届いてきたことをとらえさせるために、瓦同士の類似点に着目させる。 ㊦ 肖像画(聖武天皇、鑑真) ㊦ 年表(聖武天皇、鑑真) ○ 正式の仏教を広めたい聖武天皇の願いに気付かせるために、当時の人々のくらしに着目させ、聖武天皇の意図について話し合わせる。
①	5 天皇中心の政治の確立を人々の願いと関連付けて歴史新聞にまとめる。 天皇を中心とした政治の確立を目指し、仏教の力で国を治めたから。	全国に国分寺が造られていくのがあるな。天仏をつづった理由があるのがあるな。 全国から人や物資を招集しているのがあるな。中国(唐)から学んだことも多いな。	○ 鑑真の信念を共感的にとらえさせるために、渡航の苦勞と授戒の必要性を関連付けて話し合わせる。 ○ 人々の願いを共感的にとらえさせるために、国づくりと人々の働きを関連して整理・再構成させる。
		人々の願いがつながりながら、天皇中心の政治になったな。 世界遺産として、受け継がれてきた理由が分かるな。	

## 5 本 時 (6/7)

### (1) 目 標

- ア 聖武天皇による大陸の文化を取り入れた国づくりと鑑真の働きについて考え、大陸との交流を通じた天皇中心の政治が確立される様子について意欲的に追究することができる。
- イ 聖武天皇が学んだことや鑑真の働きについて話し合うことを通して、正式の仏教を広めたい聖武天皇の願いや仏教の発展に尽くした鑑真の働きをとらえることができる。

### (2) 本時の展開に当たって

本時の展開に当たっては、大陸の文化を取り入れ国づくりに役立てようとする聖武天皇の取組をとらえさせるために、**正式の仏教を広めたいという聖武天皇の願いを取り上げ、僧の税の免除による私度僧の出現と鑑真による授戒とを関連付けて話し合わせ**、社会全体の不安な様子を救い、よりよい国づくりを目指していたことを「説明」させたい。

### (3) 実 際

学習過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ		
の追 具究 体問 化題	1 本時における追究問題を確認し、 具体化する。 なぜ、聖武天皇は大陸から学ぼう としたのだろうか。	8	㊟ 写真（螺鈿紫檀五絃琵琶） ○ 「なぜ、聖武天皇の宝物に国外のものがあるのだろうか。」という疑問をもたせるために、ラクダの模様に着目させる。		
	2 学習の進め方や資料について話し 合う。 ○ グループによる話し合い→全体で の話し合い ○ 教科書、資料集、地図帳		○ 本時の学習の進め方を明確にし、見通しをもった追究ができるようにするために、教科書等の範囲を確認したり自分の考えの根拠を示した発表の仕方を意識付けたりする。		
計追 画究	3 聖武天皇が学んだことや鑑真の働 きについて話し合う。 (1) 聖武天皇の学んだことについて 話し合う。 (2) 鑑真の働きについて話し合う。 人々のくらし ・重い税の取り立て ・旱魃、飢饉、疫病、地震 ・僧の税免除、私度僧の出現	30	㊟ 年表（聖武天皇の一生） ○ 正式の仏教を広めたいという聖武天皇の願いをとらえさせるために、即位後は人々が旱魃や飢饉に悩まされていたことと税の免除による私度僧の出現とを関連付けて、正式の仏教を必要とする意図について話し合わせる。		
			㊟ 地図（遣唐使の航路）、VTR（天平を駆け抜けた男と女たち） ○ 当時の文化の交流の大変さをとらえさせるために、唐や日本の地理的位置と VTR の渡航の困難な様子とを関連付けさせながら、現代との違いについて話し合わせる。		
追 究 問 題 の 究 明	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>聖武天皇</b>                      ・政治の仕組み                      ・唐の文化                      ・大仏を造る技術                      ・仏教による平定                 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>鑑真</b>                      ・5度の渡航失敗                      ・失明                      ・国禁を犯し来日                      ・授戒を行う                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;">正式の仏教を広めたい</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;">皆（弟子）が行かないなら私が行く</div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;">よりよい国づくりに役立つ</div>	<b>聖武天皇</b> ・政治の仕組み ・唐の文化 ・大仏を造る技術 ・仏教による平定	<b>鑑真</b> ・5度の渡航失敗 ・失明 ・国禁を犯し来日 ・授戒を行う		○ 年表（鑑真の一生）、絵図（東征伝絵巻） ○ 鑑真の信念に気付かせるために、鑑真の「皆（弟子）が行かないなら私が行く。」や来日までの年数から苦労について話し合わせる。
	<b>聖武天皇</b> ・政治の仕組み ・唐の文化 ・大仏を造る技術 ・仏教による平定	<b>鑑真</b> ・5度の渡航失敗 ・失明 ・国禁を犯し来日 ・授戒を行う			
4 本時の学習についてまとめる。 よりよい国づくりを目指して、大 陸から学ぼうとしたから。	7	○ 様々な人々のかかわりで政治が確立されたことをとらえさせるために、「聖武天皇の願いが叶えられたのはなぜだろうか。」と発問しながら、鑑真らの働きを振り返らせ、天皇中心の政治について話し合わせる。			
ま と め	5 次時の学習について話し合う。 ○ 特に取り上げたい人物を選択し、 歴史新聞にまとめる。		○ 追究問題に対する自分の考えを明らかにさせるために、聖武天皇の願いと鑑真の働きを関連付けた「説明」をノートに記入させる。		